

# 衆議院科学技術・イノベーション推進特別委員会ニュース

平成 23.4.26 第 177 回国会第 3 号

4 月 26 日（火）第 3 回の委員会が開かれました。

## 1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。

理事 稲見 哲 男君（民主）（理事三日月大造君去る 22 日委員辞任につきその補欠）

理事 空本 誠 喜君（民主）（理事泉健太君去る 22 日委員辞任につきその補欠）

## 2 阿久津内閣府大臣政務官から就任の挨拶が行われました。

## 3 科学技術、イノベーション推進の総合的な対策に関する件（原子力政策について）

- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。
- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）原子力委員会委員長 近藤 駿 介君  
原子力委員会委員長代理 鈴木 達治郎君  
原子力委員会委員 秋庭 悦子君  
原子力委員会委員 大庭 三枝君  
原子力委員会委員 尾本 彰君

（質疑者及び主な質疑内容）

### 山崎 誠君（民主）

- ・東京電力福島第一原子力発電所事故後の原子力委員会の活動状況について近藤参考人の説明を伺いたい。
- ・原子力発電所は安全という従来の広報は根本的に変えるべきと考えるが、広報の在り方について秋庭参考人の見解を伺いたい。
- ・原子力発電所の新增設の在り方について大庭参考人の見解を伺いたい。

### 吉野 正 芳君（自民）

- ・現政権が掲げる温室効果ガスを 2020 年までに 1990 年比で 25%削減するという目標は、原子力発電所の増設が前提となっている。今の状況では、目標の達成は無理だと国際社会に正直に言うべきだと思うが、大庭参考人の意見を伺いたい。
- ・東京電力が発表した福島第一原子力発電所の事故収束に向けた工程表に対する評価について鈴木参考人の見解を伺いたい。また、同工程表は技術者だけでなく科学者意見も取り込まれているのか尾本参考人の見解を伺いたい。
- ・緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）の情報が適時に公表されなかったため、双葉町の住民は風下である北西部に避難する結果になった。なぜ原子力委員会は、SPEEDI の試算結果をすぐに公表するよう原子力安全委員会

に強く要請しなかったのか、近藤参考人の見解を伺いたい。

### 斉藤 鉄 夫君（公明）

- ・技術者倫理の観点から福島原子力発電所事故をどのように考えているのか、また、事故への対処に際して東京電力の利益が判断材料に入っていたのではないかと指摘について、尾本参考人の見解を伺いたい。
- ・今後の原子力政策について、世論調査によれば 40～50%が「現状維持」を選択している。原子力に対する否定的意見が少なかった理由、また、イデオロギー論争に陥らずに国民的な議論を進める方法について、秋庭参考人の見解を伺いたい。
- ・原子力委員会の役割は、原子力について国民に正しく分かりやすい情報と議論の方向性を提示していくことだと考えているが、近藤参考人の見解を伺いたい。

### 宮本 岳 志君（共産）

- ・今回の福島第一原子力発電所事故について、原子力関係者から反省の弁が述べられているが、この事故の何を反省しなければならないか、各参考人に伺う。
- ・原子力政策大綱において、万一の際の防災対策や防護対策が整備されてきているとされている。この場合の対策は、どのような災害を想定していたのか、また、今後どのような対策

が必要か、近藤参考人に伺う。

- ・尾本参考人は防災対策における当時の知見において限界があったと言われるが、日本共産党は以前から危険性を指摘してきた。それでもなお、知見に限界があったといえるのか。

## **阿部知子君(社民)**

- ・原子力発電所の事故が起こったときに、原子力委員会は組織としてどのように関与すべきか、近藤参考人に伺う。
- ・原子力委員会は、今回の福島第一原子力発電所事故の検証委員会の立ち上げを進言すべきと考えるが、近藤参考人及び鈴木参考人に伺う。
- ・原子力発電所の事故では、被曝量の個人管理が必要だと考えるが、個人管理の把握について今後の方向性を秋庭参考人に伺う。